

乾燥肌に対するグルコサミン塩酸塩の臨床効果

要約

乾燥肌で肌荒れ傾向のある女性32名を対象にグルコサミン塩酸塩（1500mg/day）又はプラセボを6週間摂取してもらい、二重盲検摂取試験を実施した。その結果、以下の事が明らかとなった。

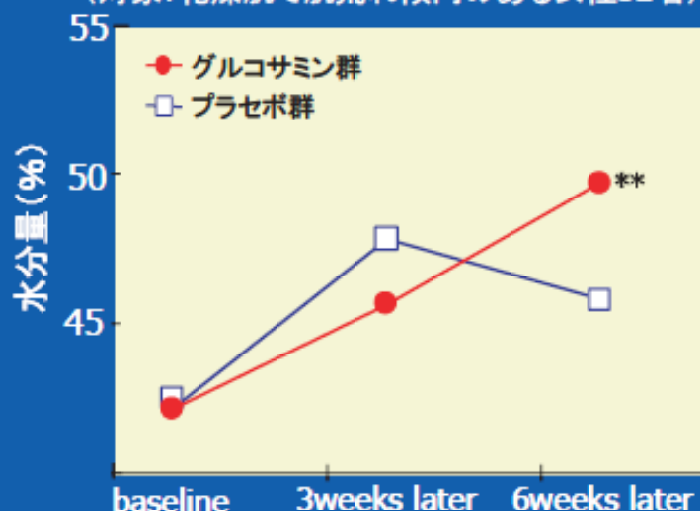
(1) 医師の所見において、グルコサミン塩酸塩が、肌の乾燥や化粧のり、落屑を有意に改善させる働きのある事が示された。

(2) 肌の水分量測定において、グルコサミン塩酸塩が、水分量を増加させる働きがあることが示された。

(3) 肌の顕微鏡的3次元的皮膚表面解析によって、グルコサミン塩酸塩が、肌の滑らかさや鱗屑を改善させる働きがある事が示された。

●水分量の推移(左眼下部)

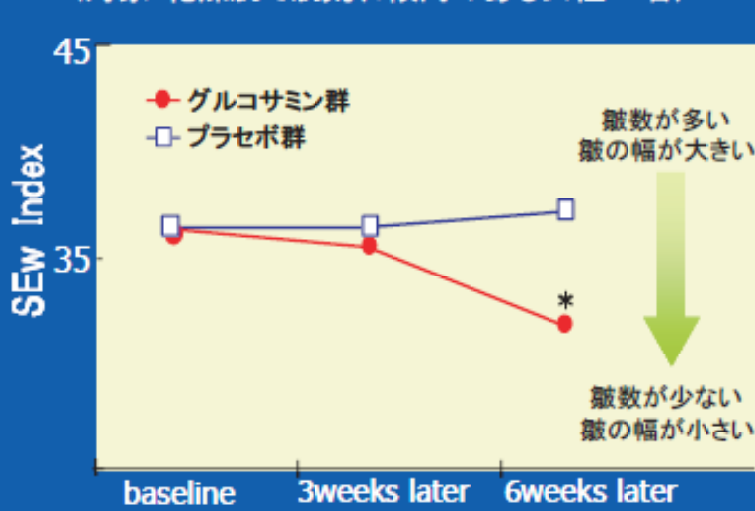
(対象:乾燥肌で肌荒れ傾向のある女性32名)



「CorneometerCM825」を用いて、左眼下部の水分量を測定

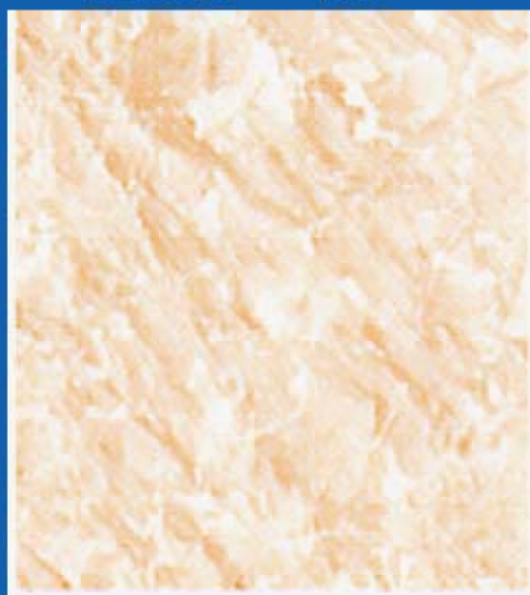
●SEw(皺の数と幅)の推移(眼下部)

(対象:乾燥肌で肌荒れ傾向のある女性32名)



顕微鏡的3次元皮膚表面解析装置で評価

●グルコサミン投与前後のVISIOSCAN画像(23歳女性・上腕外側部)



摂取前



摂取6週間後

